

平成30年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

平成30年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			H30	R1	R2		
愛知県	岡崎市	岡崎市ぬかたブランド協議会	●	○	□	A	おかげさかき氷街道、森づかい推進運動、ヨモギの試験栽培、天然鮎の活用、自然薯商品の開発、山の恵みマッチングの参加等、これまでにない取組がなされ、地域資源の潜在的な力を活用し、所得の向上や雇用の増大に向けた事業実績として評価できる。 2年目以降の継続的・発展的な取組により、さらなる効果が発揮されることを期待する。

(注1) 「事業実施段階」の凡例： ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分： A・・優良 B・・良好 C・・低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である米津 眞、島岡 勝隆から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

米津 眞、島岡勝隆

【意見聴取の概要】

3か年事業の1年目から協議会に参加する人はのべ85名に膨れ上がり、委員、運営委員、部会といった組織が上手く機能しており、積極的・具体的なこれまでにない取組がなされ、地域内における事業の必要性が浮き彫りとなっており、高く評価する。

事業目標(成果指標)達成状況の達成率が73.8%の項目があるが、2年目以降の課題として「今後の事業構想」の記述に明確化されており、継続的・発展的な取組により、さらなる効果が発揮されることを期待する。